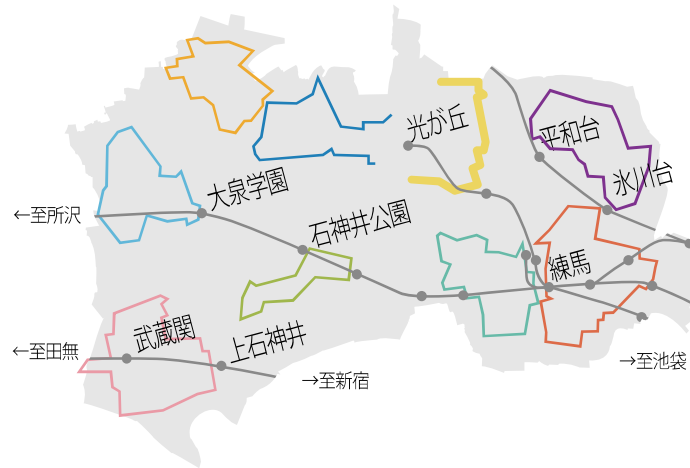


ねりまの散歩道

「ねりまの散歩道」は、身近にある景観を楽しみながら歩く散歩道です。

まちの景観の下地となっているのは、まちの地形や歴史です。ちょっとした坂道の上下から見えるみどり等にそのまちらしさが隠れています。「歩きたくなるまち 住みつけたくなるまちねりま」に出かけてみませんか。



「とっておきの風景」(練馬区地域景観資源) アーカイブ・アルバム公開中!



「とっておきの風景」は、地域で親しまれ、今後も大切にしたい風景を区民から募集し、練馬区の景観資源として登録したものです。平成23年度から平成30年度にかけて募集を行い、様々な風景が登録されています。

発行：練馬区都市計画課
作成：(公財)練馬区環境まちづくり公社(景観部編纂)



「とっておきの風景」を地域別(町別)に整理し、「アーカイブ・アルバム」として区公式ホームページで公開しています。

各地域固有の魅力ある景観を是非ご覧ください。



<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/keikan/>

とっておきの風景 検索



- 1 石神井公園コース
- 2 武蔵関公園コース
- 3 大泉井頭公園コース
- 4 大泉中央公園コース
- 5 清水山・稲荷山コース
- 6 豊玉・高稲荷公園コース
- 7 中村・向山庭園コース
- 8 光が丘公園コース
- 9 城北中央公園コース

令和7年(2025年)8月版

発行・編集：練馬区都市整備部都市計画課
協力：(公財)練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター

清水山・稲荷山コース

光が丘公園から白子川の谷地形を辿る

ポイント

1 農地と住宅が共存する街並み

農地と住宅地が並ぶ通りを一步入ると、農業体験農園が見えてきます。区画整理で整然と区画割りされた農地と周辺の住宅地が良好に共存しながら、日常的に農の営みを感じることが出来る練馬ならではの都市空間です。



ベニシジミ
3~11月に出現。
ギシギシに卵を産みます。



**畑で見られる
植物といきものたち**

ムクドリ
畑を耕した日に、土の中の虫やミミズを食べに来ます。



ギシギシ
河川や畑のふちの雑草で見られます。



スベリヒユ
テカテカした葉と黄色い花が目印です。



ポイント

2 八坂小学校・八坂中学校前のサクラ並木

八坂小学校と八坂中学校の間の通りは、サクラ並木となっています。この道は、土支田八幡宮の横を下ったところで枝分かれし、突き当りは白子川となっているため、周辺と隔てられた印象的な道路空間となっています。



ポイント

3 稲荷山緑地から見える白子川崖線

白子川沿いを歩いて進み、八坂小学校を過ぎた辺りの住宅地のなかに稲荷山緑地があります。川を背にして奥に視線を送ると、崖線に広がる稲荷山憩いの森が見えます。稲荷山緑地や隣接する農地とまざり合っって一体的な光景が広がっています。



稲荷山緑地の奥に農地、崖地のみどりとつづいています。

ポイント

4 稲荷山憩いの森の斜面地のみどり溢れる坂道

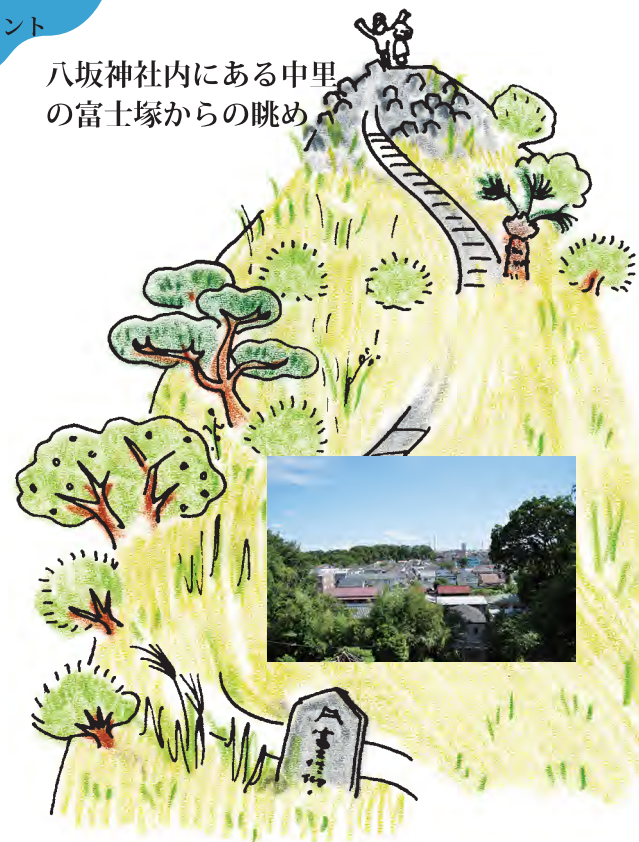
稲荷山憩いの森を通り抜ける上り坂は、適度にカーブしていて視線の先が一面みどりに覆われます。森の中へ足を踏み入れたのかと錯覚するほどです。憩いの森のみどりに包まれて、心地よさを感じながら歩くことができる坂道です。



3月下旬頃はカタクリの花も見頃

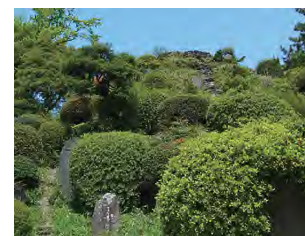
ポイント

5 八坂神社内にある中里の富士塚からの眺め



頂上は12mの高さ

別荘橋を北の方角に進んだ先に八坂神社があります。神社の東には、富士山信仰の風習を今に伝える中里の富士塚があります。



登れば富士詣と同じ御利益があるとされる

富士塚の頂上からは、清水山の森と稲荷山憩いの森が一望できます。この富士塚は白子川の崖地にあり、さらに盛り土してあることで、とても見晴らしが良い場所です。

ポイント

6 北大泉地区区民館前からの眺望

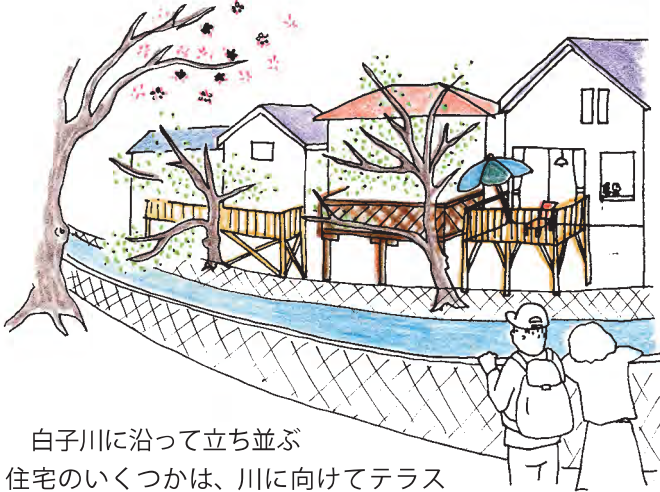
北大泉地区区民館は、白子川に向けて下がる北斜面の上部にあります。対岸の斜面地を一望すると、弧を描く白子川と斜面地に連なる住宅、崖線のみどりによる眺望景観を楽しむことができます。



対岸の大泉町もみじやま公園が望めます。

ポイント

8 白子川周辺の住宅の街並み



白子川に沿って立ち並ぶ住宅のいくつかは、川に向けてテラスを張り出しています。テラスと川岸の桜並木が相まって、とても印象的な住宅地となっています。こうした表情のある空間は、そこに住む方だけでなく、訪れる方へも心地よさを提供します。

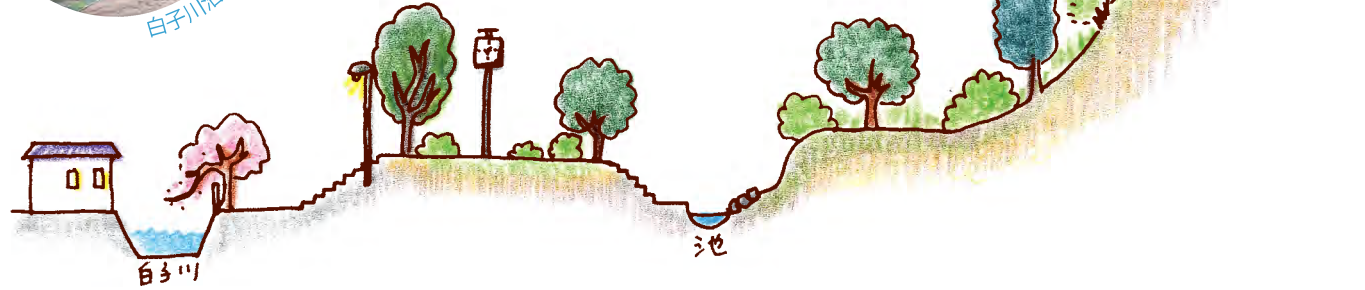
ポイント

7 白子川から中里泉公園への連続したみどり



白子川沿いの道

中里泉公園を取り囲む一帯は、区画整理によって道路や街区が整えられた地区です。ちょうど白子川沿いにあるため、川沿いの遊歩道からも入ることができる公園が、地区の真ん中に



公園から見上げると高低差がよくわかる

設計されました。崖地の地形を活かし白子川へと続くみどりが印象的な景観を生みだしています。

ポイント

9 川岸の道と崖上の道が選べるあかまつ緑地

背の高いアカマツが目印となるのは、川岸にそって細長く延びるあかまつ緑地です。この緑地には、水を感じる川沿いとみどりを眺める崖上の2つの遊歩道があります。途中には、それぞれの遊歩道をつなぐ階段があり、木漏れ日のなか川沿いと崖上を行き来しながら散歩を楽しむことができます。



崖上の道



川岸の道



ポイント

10 田柄用水の大きなS字の蛇行路

土支田農業公園をぐるりと囲む水路敷きは、田柄用水の跡で今は暗渠（ふたをかけた状態）になっています。この辺りは、大きくS字を描くように蛇行していますが、これは地域の広い範囲に配水するためです。

弧を描く水路敷きは先が見通せず、歩きながら少しずつ変わっていく景色を楽しむことができます。



みどりの実態調査航空写真（平成28年）